

広報

かみす

2024年

6/1

No.415

Kamisu public relations



神栖ディスカバリー

File
12

特集

白砂青松を 未来へ

2000人の海岸清掃プロジェクト

Pick up

住民健診..... P6~7

総合防災訓練実施..... P8

市職員採用試験..... P9

今年も日川浜海水浴場で海岸清掃を開催します。毎年たくさんのボランティアが集まる、この取り組みを紹介します。



市メールマガジンはコチラ

AR

広報かみすが動き出す

【COCOAR】アプリをダウンロードし表紙にスマートフォンをかざしてください。詳しくは14ページ



【COCOAR】





特集

2000人の海岸清掃プロジェクト

白砂青松を 未来へ

毎年、海開きの前に、一足早く夏の訪れを告げる一日があります。それが、日川浜海水浴場の海岸清掃です。子どもから大人まで大勢の人たちが集結し、一斉に行なわれるごみ拾い。今回は、SDGsにもつながる、豊かな海を守るための活動をご紹介します。

美しい海岸はこのまちの宝

鹿島灘に面して長い海岸線が続く神栖市。釣りやマリンスポーツ、洋上から昇る朝日、そして夏にオープンする日川浜や波崎の海水浴場など、神栖市の魅力を語る上で海は欠かせない存在です。

遠浅できれいな海岸を守るため、15年以上前から市民主体で大規模な海岸清掃が行なわれているのをご存じですか？ 時期は海開きを迎える前の6月末か7月初頭、参加人数は例年約2000人に上ります。

この活動がスタートしたのは2007年。『日川浜から波崎漁港までの白



海岸を
きれいにしよう！

小学生による開始号令

砂青松を大切な財産として将来に引き継ぎたい』をテーマに、市民有志によって神栖市海岸清掃実行委員会が結成されたのが始まりです。これまでの活動がどのように行なわれ、なぜ続けていくことができたのか、実行委員長 金本吉明さんに話を聞きました。

人の力に勝るものはない！

まず、海岸清掃当日の流れをご紹介します。事前申し込みは不要で、朝9時に直接、日川浜海水浴場に集合。受付で、可燃ごみ用と不燃ごみ用の各ごみ袋、軍手、参加記念のオリジナルタオルが配布されます。開会式では、小学生の代表がマイクの前に立ち「これから海岸清掃を始めます！」と元気に開始号令。それを合図に参加者が海岸を歩きながらごみ拾いをしていき、10時半には終了します。

毎回、みるみるきれいになっていく海岸を見て、人の力の大きさを実感すると金本さんは言います。

「海岸はちよつと風



スタッフ用帽子と参加記念オリジナルタオル

が吹くだけで、1週間もするものすごい量のごみが集まってしまうんです。そのほとんどが漂



金本実行委員長

着ごみで、外国から流れ着くものも少なくありません。それを大勢の参加者が一つひとつ拾いながら進んでいくと、1時間半で見違えるほど海岸がきれいになります。機械で砂浜のごみを集めようとしても全部は拾いきれませんから、人の力に勝るものはありませんね」

参加者が不燃ごみと可燃ごみを分別しながら拾っていきませんが、事前説明や案内掲示が不要なくらい、きちんと分別されているそうです。小さなお子さんが、親御さんから分別の仕方を教わりながら拾っている姿もよく見られるとのこと。もし分別に迷うごみがあれば、集積所のスタッフが質問に答えてくれます。

地域の力を結集

海岸清掃は、多くの皆さんのボランティア精神に支えられています。参加者は個人、家族連れ、地元の



海水浴はもちろんサーフィンも盛んな日川浜海水浴場。多くのサーファーが海岸清掃に参加している





①身近に感じるSDGs



②



⑤



④



③

①身近に感じるSDGs ②③人の力で海岸がみるみるきれいになっていく ④おそろいのTシャツで参加 ⑤最も多かった年のごみの量は5.8トンに上る

小中高校生、部活動や地域のグループ、各種市民団体や地元企業、鹿島臨海工業地帯の企業のボランティアグループなどさまざま。「二度参加した人がまた次も参加してくれるので、見覚えのある顔が増えていきます。それから、最初は普段着で参加していた皆さんが、おそろいのオリジナルTシャツを着たり、企業名を書いたのぼりを作ったりしてくれるようになったんですよ」と顔をほころばせる金本さん。そうした参加者の様子からも、大勢の人が意欲的に取り組んでいる姿勢が伝わってきます。

また、神栖市消防団や日赤アマチュア無線奉仕団神栖地区分団の協力で、参加者の安全確保にも万全を期しています。「東日本大震災の翌年から津波の警戒に力を入れています。海岸清掃当日は消防団に張り付いてもらい、万が一のときはアマチュア無線で連絡を取り合い、波崎柳川高校に避難誘導します。また津波だけでなく、子どもたちが水の事故に遭わないよう細心の注意を払って見守っています」と話してくれました。加えて実行委員会では複数の給水所を設置し、熱中症への注意を呼びかけています。

さらに、集めたごみは金本さんの会社が所有するコンテナ車で運搬。可燃ごみは今年4月から稼働を始めた鹿島共同可燃ごみクリーンセンターへ、不燃ごみは神栖市第一リサイクルプラザへ運び入れます。

このように神栖市の海岸清掃は、まさに地域の力を結集した活動となっています。

身近な海岸でSDGsを考える

海岸のごみの量は膨大で、2008年から2014年までは1回の海岸清掃で約5トンのごみを回収。最も多かった年は、5.8トンに達して



万が一に備え、神栖市消防団と日赤アマチュア無線奉仕団が参加



コラム 散乱するごみから考えるSDGs

SDGsとは世界が共通して取り組む目標で、達成期限は2030年です。17項目があり、そのうちのひとつが「海の豊かさを守ろう」です。海岸清掃が目立つごみは、ペットボトルや包装容器、流木など。特にいま、海洋プラスチック汚染は深刻で、「2050年の海は、魚よりもプラスチックごみの方が多くなるかもしれない」という報告があります。



います。2016年以降は1回につき2〜3トンに減りましたが、それでも大量のごみが散乱していることに変わりはありません。

特にいま、海洋プラスチック汚染は世界的な環境問題となっています。海の中を漂うプラスチックごみは海の生物を傷つけますし、プラスチックごみが細かくちぎれてしまえば人の手で回収することは不可能となります。また、海の中だけでなく海辺にもさまざまな動植物が生息しています。

このような状況を踏まえ、実行委員会は今年、『みんなでで行うSDGs』をキャッチフレーズに掲げています。そこに込めた思いを、金本さ



日川浜から波崎漁港まで続く白砂青松

みんなできれいな海を守ろう！

さて、長年にわたって続いている

んは次のように語ります。

「ごみ拾いを通して、環境保護の大切さを伝えたいと思っています。私たちにとって身近な海岸ですから、やはり私たちの手できれいにしたいです。海清掃に参加してくれた子どもたちが環境問題に関心を持ってくれば、ごみをポイ捨てするような大人にはならないでしょう。そんなふうには、海岸清掃の活動が将来につながることを願っています」

海岸清掃ですが、実行委員会にとって気がかりなことが一つあります。それは、参加者が少し減ってしまったことです。

これまでの参加者数を振り返ると、2017年が2500人、2018年が2700人、2019年が2000人と、毎年2000人を上回っていません。しかし、新型コロナウイルスの影響で2020年と2021年はやむなく中止に。それでも再開後の2022年は3年ぶりにもかかわらず1500人、2023年は1390人と大勢が参加し、「久しぶりに皆さんと一緒にごみ拾いができてうれしかった」と金本さんは言います。同時に、少しでも早くコロナ前と同じくらいの参加者に集まっていきたいというのが事務局の願いです。

そこで、何とか活動を盛り返していこうと、ポスター作成をはじめ告知や啓発に力を入れています。また今年新たに、参加者に「ココくんポイント」を付与する取り組みをスタート。地域ポイントカードの「かみすポイント」として、市内加盟店での買い物や飲食に利用できます。



今年の海岸清掃は6月29日(土)、

午前9時から実施されます(小雨決行)。悪天候の場合は午前7時半に防災無線で放送するほか、神栖市のメールマガジンや公式X(旧ツイッター)で告知し、翌30日(日)に順延もしくは中止となります。

まだ参加したことがない方も、今年には家族や友人を誘って気軽に参加してみませんか？ 目の前の小さなごみを拾うことが、美しく豊かな海を次世代へ引き継ぐ第一歩となります。みんなの力で、神栖市のきれいな海を守っていきましょう！

海岸清掃

6月29日(土)

午前9時～10時30分

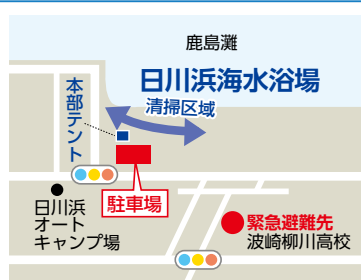
少雨決行、悪天候は30日(日)

駐車場 日川浜海水浴場
駐車場

集合場所 本部テント前

緊急避難所 波崎柳川高校

清掃範囲 日川浜海水浴場の周辺約700m



- ◎熱中症対策として、帽子や上着・タオルなどを各自でご用意ください
- ◎ごみ減量のために、給水用のマイカップ・マイボトルをご持参ください
- ◎車でお越しの際は、なるべく乗り合わせをお願いします
- ◎開始時間間際は混雑が予想されますので、時間にゆとりを持ってお越しください